

教科	情報	科目	情報 I	履修区分	必修	使用教科書	東京書籍『新編情報 I (701)』
添削指導回数	4	面接指導回数	4	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座教科書DVD

学習の目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。  
 ①効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。  
 ②事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。  
 ③情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～④の計4時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則2時間（6割減免）まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導（視聴票を含む）を全て修了後に受験。
単位修得	（認定）に当たっての基準
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導				単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴票			観点	評価規準
				NHK高校講座	教科書DVD			
P. 7-34, 170-171 1章「情報で問題を解決する」	1	① ②	I・Ⅲ期	1, 2, 3, 4 7, 8, 9, 10	P. 7-34	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	情報やメディアの特性を理解している。問題解決のプロセスを理解している。発想法の基本的な考え方を理解している。個人情報とは何かを理解している。著作権では、どのようなものを保護しているか理解している。情報化の進展による生活の変化について理解している。
P. 35-62, 126-127 2章「情報を伝える」	2						思考・判断・表現	伝える情報に対して適切な表現メディアを判断することができる。身近な問題について、問題解決のプロセスを当てはめて考えることができる。発想法を使って表現することができる。自分の個人情報を、どこまでインターネット上に公開できるか考えることができる。
		主体的に学習に取り組む態度	個人情報を適切に扱おうとしている。身の回りの情報技術の活用場面を知ろうとしている。					
P. 63-90, 142, 180-181 3章「コンピュータを活用する」	3	③ ④	Ⅱ期	11, 12, 14, 15 17, 18, 19, 20	P. 63-90		知識・技能	ネットコミュニケーションの特徴、デジタルとアナログの違いを理解している。音と画像のデジタル化の方法、色と動画のデジタル化の方法を理解している。情報を圧縮する方法、情報デザインの方法を理解している。ユニバーサルデザインとは何かを理解している。デザイン思考の流れについて理解している。
							思考・判断・表現	状況に応じて適切なメディアを選択することができる。
主体的に学習に取り組む態度	ネットコミュニケーションの特性を理解してメディアを活用しようとしている。							
P. 91-118, 146-149 4章「データを活用する」	4						知識・技能	コンピュータの仕組み、ソフトウェアの働き、論理回路について理解している。アルゴリズムを表現する方法を理解している。プログラムの順次構造、配列やリストを用いたプログラム、乱数や関数を用いたプログラムを理解している。モデル化の技能を身につけている。シミュレーションをする技能を身につけている。
		思考・判断・表現	身の回りにあるコンピュータが入っている製品を考えることができる。プログラムに表現することができる。					
		主体的に学習に取り組む態度	コンピュータの仕組みに興味を持とうとしている。					
		知識・技能	インターネット接続、インターネットの接続の仕組み、サーバとクライアントの意味と役割を理解している。インターネット上のサービスの仕組み、情報セキュリティの技術、データの形式について理解している。データベースがどのように活用されているか理解している。データモデル、データを収集して可視化する技能を身につけている。データ分析の際に注意することを理解している。					
		思考・判断・表現	インターネットの今後の利用について考えることができる。ネットワークのトラブルチェックシートを考えることができる。					
		主体的に学習に取り組む態度	ネットワークの仕組みについて興味を持とうとしている。インターネット上のサービスの仕組みについて考えようとしている。					